

修了評価の方法

評価基準作成者：堀川 茂野

評価方法及び合格基準	<ol style="list-style-type: none">1 出題範囲<ul style="list-style-type: none">・ 「(2)介護における尊厳の保持・視自立支援」から「(9)こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。・ テキスト第1巻「人間と社会・介護1」P19以降・ テキスト第2巻「人間社会・介護2」・ テキスト第3巻「こころとからだのしくみ」2 出題形式<ol style="list-style-type: none">(1) 択一問題は、四肢択一および語群から選択する。(2) 記述式問題は、課題について200字程度で解答する。(3) 択一問題と記述式問題をあわせて評価(試験)時間は90分以内とする。3 出題数<ol style="list-style-type: none">(1) 択一問題16問(配点60点)、記述式問題8問(配点40点) 全問正解：100点満点(2) 各科目から択一問題2問、記述式1問を出題する。4 合否判定基準 60点以上(但し記述式問題で20点以上を得点すること)5 不合格になったときの取扱い<ol style="list-style-type: none">(1) 結果発表後、直ちに1時間以上の補習を行なったうえ再評価を行う。 なお、再評価に係る合格基準は60点以上(但し記述式問題で20点以上を得点すること)とする。 補習料は無料、再評価料は3,000円とする。(2) 再評価の上限は3回とする。(3) 再評価が不合格の者には修了を認めない。但し、初任者研修130時間を受講し、修了評価が不合格であった旨を証明する文書を交付する。
------------	---